

基盤整備と地域協働で築く100年先を見据えた農業 ～農事組合法人十二牲担い手生産組合（秋田県横手市）～

経営体の概要

設立年度：平成18年
基幹作物：水稲、小ギク、WCS
経営面積：25.1ha

現在：令和7年
基幹作物：水稲、小ギク、WCS、
メロン
経営面積：54.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

●前歴事業で造成された基幹的農業水利施設の老朽化や地区内の一部で用水不足が生じるなど農業用水の安定供給に支障が出ている。



【現在】

●国営旭川事業（H28～R12）により、老朽化した基幹的農業水利施設を改修し、用水システムの再編に伴う取水施設の統廃合を行うことで、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定化に貢献している。

営農改善、経営転換等のポイント

①地下灌漑による露地小ギク経営の安定化

国営事業により農業用水の安定供給が維持され、県営ほ場整備により整備された地下灌漑システム等を活用することで、小ギクの苗立ちが安定し、高温障害を軽減、高品質・高収量の栽培体制を確立している。また、社長の誠実な人柄もあり、地域の高齢者や兼業農家の協力を得ることで、適期作業の効率的な実施が可能となり、地域一体となった営農モデルを実現している。



小ギクの収穫作業

②水稲の疎植プール育苗による省力化

露地でのプール育苗と疎植栽培を導入し、育苗のかん水・追肥作業を効率化、10aあたりの苗箱使用枚数を従来の25枚から15枚に削減し、資材費と労働負担を大幅に軽減。苗の均一性向上と病害抑制を両立し、省力化と収量・品質の維持を実現している。



プール育苗の準備作業

③地域教育と地域資源の保全活動

子供達への農業理解のため、修学旅行生や小中学校の体験学習を積極的に受け入れている。これらの活動は、高齢者が経験や技術を活かせる場となり、高齢者の生きがいと集落の活力向上につながっている。また、農地を守るため資源保全隊に参画、生き物調査や景観作物栽培など地域資源の保全活動にも貢献している。



児童とのキャベツ収穫

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：秋田県横手市、大仙市及び仙北郡美郷町
受益面積：3,159ha
事業期間：平成28年度～令和12年度
事業目的：農業水利施設改修、用水再編及び耐震化
主要工事：ダム改修1箇所、頭首工改修3箇所、
用水路改修L=16.7km、
水管理施設改修一式

位置図



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化事業推進担当
電話：022-263-1111
内線（4460, 4201）

（令和7年度調査時点）